

新武蔵野クリーンセンター（仮称）施設・周辺整備協議会（第2回）  
議事要録

日時 平成22年5月17日（月）午後7時～午後9時

場所 クリーンセンター3F 見学者ホール

出席 小澤紀美子委員（会長）、水谷俊博委員（副会長）、高橋豊委員、村井寿夫委員、  
藻谷征子委員、塩澤誠一郎委員、木村文委員、石黒愛子委員、千綿澄子委員、島  
森和子委員、高石優委員、山崎君枝委員、平田昭虎委員、岡田敬一委員、渡部敏  
夫委員、事務局（木村浩クリーンセンター所長、和地稔課長補佐他）、コンサル  
タント（株式会社日建設計 高津敬俊主管他）、傍聴者2名、記者0名

欠席 飯村雅洋委員

### 1. 広島中工場視察報告

会長より中工場視察報告。

- ・ **会長** せっかくのごみの歴史がこれでは分からないと感じた。公園に遊びに行くという感覚ではよいが、ごみをどうしたら良いかと考えるには「弱い」と感じる。ごみの本質を考えるうえでは、私は異なるアプローチを考えたい。隠すということだけでも良くないが、中工場の場合には本質は何も見えてこない。

### 2. フンデルトワッサー作品紹介

副会長よりフンデルトワッサー作品紹介。

- ・ **会長** フンデルトワッサーは自然を強く意識している人である。単なる箱に入れるのではなく、ワッサーのような空間も想定できる。関西との風土の違いはあるが、隠すのではなく目立たせることで、ごみのことを考えてもらうという考え方も理解できる。ごみの問題というのは誰かが後始末をしてくれるというものではないということを皆で共有し、隠すのでは避けて通れないものだとして受け止めなくてはならない。日本ではごみ処理施設にレストランは難しいかもしれないが、カフェなどを地域住民が担当して運営するようなコミュニティカフェなどがあってもよいかと考える。また、緑というものをどう考えていくか、クリーンセンターから始まる地域づくりをどう考えていくかということをお皆さんで共有できればと思う。

### 3. タウンウォッチング報告

事務局よりタウンウォッチング報告。

- ・ **委員** 普段通る道でも自転車で通過するのと歩くのは異なる。また、地元の方と歩くのも異なると感じた。どこからクリーンセンターが見えるかという、パークタウンに入ってしまうと木などが意外と見えない。一方で、市道41号線から最もよく見える。

中程度の大きさに見えるのが、北町四、五丁目で、間近に見えるのは緑町三丁目という印象である。

- **委員** 我が家では煙突は常に目の前にあるため、当たり前の風景になっていた。しかし、改めて櫛木公園など距離を置いて見ると、煙突の存在感を感じた。一方で、41号線の歩道において歩行者や自転車がすれ違うことが困難であることを強く感じた。緑町三丁目としては、自転車の道ではなく人の通る歩道を広げて欲しいと感じた。隠された戦争の跡など、クリーンセンター建て替えに伴い、細かいところを見直さなければならない。
- **委員** このエリアは本当に様々な要素があると感じた。住宅や中央公園、商店街など改善しようと思えば改善できる要素が詰まったエリアであると感じた。その中でNTT研究所がこれだけ大きな面積を占めていながら、閉鎖した空間になっていることにもったいないと感じた。また、防災拠点のエリアでもあるため、防災上の観点というのは重要であると感じた。今回のウォッチングの目的が対象エリア、コンセプトをどうするかということであったが、エコや低炭素化社会だけでなく、景観形成や防災という考え方もあると感じた。最後に武蔵野市には地区毎にベースとなるコミュニティが存在している。このコミュニティというのもコンセプトの重要なキーワードになると感じた。
- **委員** このあたりは、江戸時代に新田開発が行われた場所であり、南北の道はあるが、東西の道はあまりない。そういった歴史的な経緯も含めて、まちづくりと融合できるようなコンセプトがあると感じた。一方で、中島飛行機の工場を建てるために、地主が土地を供出したために、南北の道が一部無くなり、そこを現在NTTが使用している。そこを少し元に戻して、南北の道を通すことで、緑町一丁目、二丁目、三丁目の往来が円滑になり、商店街の活性化にもつながるのではないかと感じている。
- **委員** 緑町三丁目から二丁目に行く動線が一本しかないことを改めて感じた。同様に北町への動線も少ないことを感じた。パークタウンの建て替えが行われた際にタウンウォッチングに参加したが、地域への動線、歩車分離が考えて作られており、その考え方が次の施設にも生かされている。緑町コミュニティセンターがあつた場所にあるというのは、とても大きなことであり、クリーンセンターを含めて何らかの動線を検討するとよいと考える。コミュニティの流れとしてもいいポイントであると考えている。
- **委員** タウンウォッチングに初めて参加し、いろいろと勉強させていただいた。また、NTTの敷地は広すぎると感じた。クリーンセンターの建設に伴い、多くの車両が通行すると考えられ、そのためにも道が確保されると良い。
- **委員** 武蔵野市の緑の多さを改めて感じた。しかし、クリーンセンターを41号線のNTT裏門側から見たときに緑が少なく感じた。野球場などは、防災上の広い空き地としても非常に重要であることは認識しているが、バラや藤棚を生かした植物が楽しめるような場所があつても良いと考える。また、緑町コミュニティセンターと新クリーンセンターの関連性も検討する必要がある。フンデルトワッサーのような奇抜なものでも、夢のある子ども・大人を問わず楽しめる施設が必要であると思っている。将来的には、

クリーンセンターを含めてお茶を飲めるような場所があり、そういったところを巡れるような施設運営ができればよいと考えている。

- **委員** 今住んでいる人を対象とすべきであるのか、30年、40年先を見越してイメージすべきなのかを考えながら参加した。少子高齢化で都営住宅が空き家のままになっていたり、独居老人が1人で住んでいるなどの状況がある。そういったNTTや都の資産を市の財産として使用し、若い人を呼び込むようなテストプラントを実行できたらと考えている。
- **委員** 周ってみて、良いところがたくさんあると感じた。都営武蔵野アパートの建て替えの際に我々はもっとまちづくりについて意見を述べるべきであった。中島飛行機の変電所跡は、記念館にするなど地域の核として利用していくと良いと考える。また、中央公園と富士重工の間に道が必要だと考える。五日市街道を広げているが、一部の住民の庭がなくなることで珍しい木などを除却しなくてはならない状況が生まれている。市民で移設というのも無理だと考えられるため、このあたりも含めてまちづくりを検討する必要がある。緑町コミュニティセンターのあり方も含めて検討する必要があると考えている。
- **委員** 緑町コミュニティセンターについては、建物が古くなってきており、新施設において3丁目の方々が利用できるような会議、集会所が確保できればと考えている。市内には、都営住宅地の未利用地、公有地などが3000坪あると聞いており、公共施設として活用できればと考えている。都の公園周辺は、戦争の傷がある場所であり、そこに草花等を植えることで明るい地域がでるかと考えている。3000坪の中の1割、300坪であっても市長が言われているような緑に関する施策ができるのではないかと考えている。
- **会長** 副会長は今回参加されなかったが、学生にも見ていただいて世代間交流も含めて柔軟な発想でアイデアを出していくと良い。
- **委員** 今回は、西と南しか行けなかったが、次回は北町の方も回ってみたい。また、実施したいと考えている。
- **委員** 煙突に関して言うと、実は西東京や練馬のほうからの方がはっきりと見える。逆に言えば、市外の方に迷惑をかけている。煙突周りは、かなり並木で囲んでいるが、それでも見えてしまう部分がある。
- **委員** 新施設の余熱利用により岩盤浴、足湯など市民が楽しみ、憩いの場となることができるのではないかと考えている。さらに若者の雇用機会を創出することにもつながると考えられる。
- **委員** 私の住んでいる扶桑通りは、大学のブロック塀などがあり、視界が悪く交通事故が多発している。このような街で、自分のところまで車に乗ってくる必要があるのかと考えている。扶桑通りでは、花の小道ガーデンというイングリッシュガーデンを作っている。これらは、地域の市民が無償で働いて楽しんでいるもので、コミュニティにはこ

ういった意識が重要であるとする。

- ・ **委員** 5月16日にクリーンセンターにおいてエコフェスタを実施し、未来のクリーンセンターについて考えるワークショップを行った。隠すのではなく来て楽しい施設にしたいというようなアイデアが多く寄せられた。また、小学4年生くらいの子が、社会見学では十分に見ることができなかつたので、自由にいつでも見学できる施設にしてほしいという要望があった。また、若いお母さんからは、カフェレストランについて要望があった。当初現施設を建設する際に、ごみ焼却場ということで敬遠するということからスタートしていたが、今回建て替えにあたっては、一歩進んで皆に開かれた、楽しい、自慢できる施設になる夢のある施設になるのがよいとする。ワークショップの件は、クリーンセンターの方で整理していただいているので、まとまった段階で協議会に出してきていただきたい。

#### 4. 都市マスタープランとの関係、今後の協議会の進め方、周辺整備の計画

事務局より、都市マスタープランとの関係、今後の協議会の進め方、周辺整備の計画について説明。

- ・ **委員** 市道41号線の歩道整備については、緑町3丁目町会としては反対している。歩道の必要性、現在の危険性は十分には理解しているが、NTT側に歩道をつけるよりも、現在の歩道を車道の方に拡幅し、その下に電柱を埋設するべきではないかと提案している。いいか悪いかという結論は出しにくいと思われるので、今後協議会の場などを通して考えていかなければならないと考えている。3丁目個別の話となってしまうが、電柱の埋設というのはクリーンセンター周辺のまちづくりにおいて非常に重要であり、北町5丁目の皆さんも同じ課題を抱えていると思っている。一方で、今回の歩道の計画は工事の予定が決まった段階で、緑町3丁目町会に説明があったということの問題視している。緑町3丁目町会は、現施設の建設時にきちんと参画せずに計画が決まってしまう苦渋の思いを持っている人も多い。今回は、きちんと参画し、クリーンセンターを含めたまちづくりに関わっていきたいと考えている。
- ・ **会長** 「プラスを創造する高次な施設」「地域に開かれた施設づくり」について、次回以降ポストイットを使うなど明示的に検討していきたい。緑の連続性、歴史の継承性、参加性についてコンセプトとして加えていきたい。健康被害については、もう一つの委員会において検討されているが、そもそも我々がそういったゴミを出してはいけないという意識を持って、地域、行政が臨むという姿勢が重要である。防災や景観についても、部署をまたいだオープンな議論をして行政としても誇れるまちづくりを行って欲しい。来月の進め方は行政と議論を行うが、本日の資料のP2に記載の「まちにおけるクリーンセンターの位置づけ」を視野に入れながらアイデアを練ってきていただきたい。

## 5.その他

- ・事務局 前回の議事録を配布したので、訂正があれば指摘いただきたい。また、会長よりお話のあった宿題については、事務局・会長・副会長と相談のうえ出し方を通知できればと思っている。
- ・事務局 次回は6月21日(月)を予定している。また、見学を協議会の前に実施したいと考えている。詳細は追って連絡したい。

閉会